

(参考情報) 韓国農林畜産食品部公表情報

農林畜産食品部プレスリリース (2018年10月26日付け)

ソウル城東区(中浪川)野鳥糞便からH5型鳥インフルエンザ(AI)抗原検出
- AI緊急行動指針(SOP)に基づいてブロック防疫措置 -

出典 URL:

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE88JTJGYmJzJTJGbWFmcmEIMkY2OCUyRjMxODcxOSUyRmFydGNsVmIldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJT12aXNWaWV3TWluZSUzRGZhbHNIJT12cmdzRW5kZGVtdHIIM0QIMjZwYWdlJTNEMSUyNmJic09wZW5XcmRTZXEIM0QIMjZyZ3NCZ25kZVN0ciUzRCUyNnNyY2hXcmQIM0QIMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW4IM0QIMjZyb3cIM0QxMCUyNg%3D%3D>

(機械翻訳等に基づく仮訳)

- 農林畜産食品部(長官:イゲホ)は10月26日、ソウル市城東区(中浪川)で採取した野鳥糞便の検査結果、H5型AI抗原が検出されたと発表した。
- これにより、農林畜産食品部はAI緊急行動指針(SOP)に基づいて、抗原が検出された地点を中心に、
 - ①半径10kmの地域を「野生鳥獣類予察地域」に設定
 - ②地域内の家禽の予察・検査、移動制御および消毒
 - ③渡り鳥の飛来地と小河川などの近くの農家のp防疫強化
 - ④当該自治体にとって広域噴霧器など防疫車両を総動員して、毎日消毒を行うなど防疫措置を講じた。※高病原性かどうかなどの最終判定は3~4日かかる予定